

論点2 当座預金勘定、当座借越勘定、その他の預金に関する仕訳

- 1 三河銀行と当座契約を結び、手許現金¥2,000,000を預け入れた。
- 2 仕入先に対し、買掛金¥120,000の支払のため、小切手を振り出して支払った。
- 3 2の支払金額に誤りがあったため、振り出した小切手の返却を受けた。
- 4 売掛代金¥60,000について、先方振り出しの小切手で受け取った。
- 5 当座預金の残高が少なくなってきたため、普通預金より¥250,000を振り替えた。
- 6 吉良商事より、貸付金の返済額¥700,000とその利息3%について当座預金口座に入金があった。
- 7 一色商店からの借入金¥800,000について、利息3%とともに小切手を振り出して返済した。
- 8 得意先碧南商店より、掛代金¥45,000について、以前当店が振り出した小切手で回収した。
- 9 高浜商店は、店舗の修繕費用¥33,000を小切手を振り出して支払った。
- 10 みよし産業は、愛知新聞社に折込広告を依頼し、代金¥50,000は小切手を振り出して支払った。
- 11 岡崎商店は三河銀行と当座取引契約を結び、現金¥1,000,000を預け入れた。なお、三河銀行との間には¥300,000を限度とする当座借越契約が締結されている。(以下、11から16までは一連の問題である。)
- 12 岡崎商店は、仕入先幸田商事に対し、¥1,100,000の小切手を振り出して代金の返済した。
- 13 12の取引について、当座勘定を用いて仕訳しなさい。
- 14 岡崎商店は、得意先額田商店への掛代金¥120,000を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに三河銀行に預け入れた。
- 15 岡崎商店は、得意先より1週間前の売上代金¥250,000を現金で受け取り、ただちに当座預金口座に預け入れた。
- 16 岡崎商店は、事業所の賃借料¥50,000を小切手を振り出して支払った。
- 17 岡崎商店は、商品¥200,000を得意先豊川商事に売り上げ、代金は現金で受け取り、ただちに当座預金口座に入金した。
- 18 普通預金残高に余裕が生じたため、¥500,000を引き出し、2年の定期預金として預け入れた。
- 19 さきに刈谷商事から仕入れた商品のうち不良品を返品し、この代金¥50,000を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
- 20 定期預金¥1,000,000が満期となり、利息¥20,000とともに払い戻しを受け、ただちに普通預金口座に預け入れた。